



【轟（とどろき）地区の長ネギ農家で収穫体験】

最初に、機械が長さを揃えるためにネギの上部を切り取り、土からネギを収穫し、まとめていくのを見せてもらいました。



いよいよ、長ネギ収穫に挑戦！

子どもたちの中には、ネギが土から生えているのを見るのが初めてという子どもも。最初は1本1本おそろおそろ抜いていましたが、慣れてくると、2、3本を一気に抜いていく子もいました。



長ネギを持ってポーズ！
みんなとても楽しそう。



収穫の次は出荷作業を体験しました。規格に合わせるため、根っこを切り、ネギの上部をとったり、表面の泥の付いた部分をとったりする事を知り、「こんなにたくさんの部分が捨てられている」と驚く子もいました。



これで収穫用のネギが完成！
農家の方から、1人一束ずつ家のお土産としていただきました。



2日目最後の体験は、きりたんぼ鍋づくり。
炊きたたのご飯をつぶして、杉の木に付けていきます。やはり中学生、みんな初めてとは思えないほど上手でした。



ホットプレートで、焼き目を付けていきます。



こちらは、本日収穫した長ネギを切っています。
自分たちで収穫した野菜をその日のうちに料理して、食べるという事も都会の子どもたちにとってはとても貴重な体験です。



きりたんぼ鍋が完成！
特別美味しい比内地鶏が入った出汁の美味しさに子どもたちも大満足！

11月4日(月)



きりたんぼ作りの作業をした学校まで、民泊先のご家族が迎えに来てくれました。
みんなで記念撮影！



【受け入れ先家族とのお別れ式】

代表生徒2名が、3日間の感想とお礼の言葉を発表しました。
「3日間の能代市での体験はとても良い思い出になった。(おばあさんから) 色々な話を聞いた。また能代に来たい。その時はまた話を聞かせてください。」



「一番心に残ったことは、1日目に星を見に行ったことです。豊島区では星が見えないので、これから秋田は寒くなると思うので、お身体に気をつけてください。」



豊島区の能代市訪問が県内新聞2紙に載りました。みんな食い入るように見ていました。これもまた貴重な体験の一つですね。



お別れ式が終わってバスが出発するまでのわずかな時間も、民泊先の家族とお話をしたり、写真を撮ったりして別れを惜しむ姿が見られました。



いよいよお別れの時、笑顔でご家族に感謝の気持ちを込めて手を振ります。



受け入れ家族の方も、バスが見えなくなるまで手を振ってお見送り。
「またいつか能代に遊びに来てね。」

【保護者の方々の感想】

- ・東京で生まれ育っているのに、農家の広い家に宿泊し、方言を聞いたり広い畑でネギを収穫したり、夜は空いっぱいの星を見られたこともとても良い経験だった。
- ・帰って来るなり、ホームステイ先の家の話を沢山聞かせてくれた。とても良くしていただいたようで、大変貴重な体験となり感謝している。地方の方との農業体験や、郷土料理づくり、また方言も教わってきたようで、秋田を満喫して帰って来た。
- ・今回の交流体験で、旅行では経験出来ない機会がいただけた。秋田の人たちとの交流を通してより深く色々なことを理解できたのではないかな。民泊させていただき感謝の気持ちでいっぱい。この交流が次年度も続くことを期待。
- ・行く前は色々不安もあったが、見る物、食べる物、言葉とどれも新鮮で楽しい事ばかりだったようで、色々経験し一回り成長して帰って来た。受け入れてくれた家族の皆様には本当に良くしていただき、娘も帰りたくなかったと言っていた。
- ・ホームステイをして、感謝することの意味と重要性を知ったようだ。

【引率の方々の感想】

- ・同世代、祖父母にあたる方々、街の方々と様々な年代の方々と生徒が関わる事が出来、良い体験になった。人と人とが関わるきっかけになったのが民泊だった。生徒の中には、夕食を家族全員で毎日食べるということが減っている生徒もいるので、より楽しく感じたのではないかな。
- ・中学生一人ひとりがきっと一生忘れられない思い出と心の財産をいただいたと思う。各体験で受け入れてくださった皆様の温かい心に触れ心が癒やされ、感動や温もりというものを経験したと思う。